

株式会社エクストランス

X-MON3

ホスト登録コマンドマニュアル

まえがき

本書は ver3.8.0 以降の X-MON に実装されている、ホスト登録コマンドを利用するマニュアルです。

そのため、基本的な OS や GUI の一般的な操作、用語などについては知識をご理解の上でお読みください。

また、X-MON の操作画面はお使いの OS やブラウザによって異なる場合がございます。

本書における解説環境

X-MON ver3.8.0

X-MON の入門リファレンスや監視エージェント導入、Windows サーバの監視方法など本書以外のマニュアルについては X-MON サポートページにログインしてご確認ください。

<https://x-mon.jp/support/>

2019 年 01 月

改訂履歴
2019 年 01 月 初版

Copyright © 2019 X-TRANS, Inc. All Rights Reserved.

内容

まえがき	1
1 ホスト登録コマンドについて	4
1.1 登録内容	4
1.1.1 被監視サーバに設定できる内容	4
1.1.2 X-MON への登録できる内容	5
2 動作環境	6
2.1 ご利用いただけない環境について	6
2.1.1 ホスト登録コマンドが利用できない環境	6
2.1.2 ホスト登録コマンドの機能が制限される環境	6
3 Linux サーバでの実行例	7
3.1 コマンドのダウンロード	7
3.2 コマンドの引数について	9
3.3 コマンドの実行（エージェントをインストールする場合）	10
3.3.1 エージェント登録状態の確認	10
3.3.2 ホスト ID の指定	10
3.3.3 IP アドレス・FQDN の指定	11
3.3.4 SNMP のコミュニティ名の指定	11
3.3.5 SNMP バージョンの指定	11
3.3.6 SNMP ポート番号の指定	11
3.3.7 エージェントインストールとホスト登録	12
3.4 コマンドの実行（エージェントをインストールしない場合）	13
3.4.1 エージェント登録状態の確認	13
3.4.2 ホスト ID の指定	14
3.4.3 IP アドレス・FQDN の指定	14
3.4.4 SNMP のコミュニティ名の指定	15
3.4.5 SNMP バージョンの指定	15
3.4.6 SNMP ポート番号の指定	15
3.4.7 ホスト登録	16
3.5 ホスト登録の確認	16

4	Windows サーバでの実行例	17
4.1	コマンドのダウンロード	17
4.2	コマンドの引数について	19
4.3	コマンドの実行（エージェントをインストールする場合）	20
4.3.1	エージェント登録状態の確認.....	20
4.3.2	ホスト ID の指定	20
4.3.3	IP アドレス・FQDN の指定.....	21
4.3.4	WMI ユーザの指定	21
4.3.5	エージェントインストールとホスト登録	22
4.4	コマンドの実行（エージェントをインストールしない場合）	23
4.4.1	エージェント登録状態の確認.....	23
4.4.2	ホスト ID の指定	24
4.4.3	IP アドレス・FQDN の指定.....	24
4.4.4	WMI ユーザの指定	25
4.4.5	ホスト登録.....	25
4.5	ホスト登録の確認	26
5	補足	27
5.1	ホストの登録を行いたいが、サービスは不要な場合	27
5.2	対話を行わず、コマンドラインでホストの登録を行いたい場合.....	27
5.3	AD に所属しており、WMI ユーザを AD サーバに登録している場合.....	27

1 ホスト登録コマンドについて

ホスト登録コマンドを監視対象となる Linux や Windows サーバより実行することで、対話形式で X-MON サーバにホスト・サービスの登録と、監視に必要なエージェントをセットアップします。

初めて監視登録や、監視対象のセットアップをされる方の補助機能です。

詳細な設定や高度な監視設定をされたい場合は、管理画面での監視設定と別途監視設定マニュアルを参照し監視設定を行ってください。

1.1 登録内容

1.1.1 被監視サーバに設定できる内容

コマンド実行することで以下の設定が被監視サーバに登録可能です。

Linux サーバ

- SNMPv2 エージェントのインストールとセットアップ
- NRPE エージェントのインストールとセットアップ
- Iptables(RHEL6) / firewalld(RHEL7)の接続許可設定
 - SNMPv2 のセットアップを行った場合 161 番(UDP)ポートの接続許可
 - NRPE のセットアップを行った場合 5666 番(TCP)ポートの接続許可

※ iptables は設定反映時にサービス再起動を行います。

※ firewalld の設定反映時はサービスのリロードを行います。

Windows サービス

- WMI ユーザの登録とユーザへの権限付与
- NSClient++エージェントのインストールとセットアップ
- Windows firewall の接続許可設定
 - WMI のセットアップを行った場合、WMI サービスへの接続許可
 - NSClient++のセットアップを行った場合 5666 番ポート(TCP)の接続許可

※ WMI の firewall 許可設定は Windows 標準の「Windows Management Instrumentation (WMI 受信)」と「Windows Management Instrumentation (DCOM 受信)」を有効にします。

1.1.2 X-MON への登録できる内容

コマンド実行することで以下の情報が X-MON に登録可能です。

Linux サーバ

- 新規ホスト
 - ホスト名
 - IP アドレス
 - ホスト OS に対応するアイコン
 - SNMP コミュニティ名
 - SNMP ポート番号
 - SNMP バージョン
- 追加したホストの監視サービス
 - PING 監視
 - CPU 監視
 - メモリ管理
 - ロードアベレージ監視
 - ディスク監視

Windows サーバ

- 新規ホスト
 - ホスト名
 - IP アドレス
 - ホスト OS に対応するアイコン
 - WMI ユーザ
 - WMI パスワード
- 追加したホストの監視サービス
 - PING 監視
 - CPU 監視
 - メモリ管理
 - ディスク監視

2 動作環境

セットアップが可能な環境は以下の通りです。

- Linux
RHEL(CentOS) 6 / 7
- Windows
2008 / 2008R2 / 2012 / 2012R2 / 2016

※Linux/Windows 共に 32bit 版に非対応

2.1 ご利用いただけない環境について

以下の環境ではホスト登録コマンドが利用できないもしくは設定できる機能が制限されます。

2.1.1 ホスト登録コマンドが利用できない環境

- 被監視サーバから X-MON に対し http 接続できない。
- 被監視サーバから X-MON に対し IPv4 アドレスで接続できない。

2.1.2 ホスト登録コマンドの機能が制限される環境

- 被監視サーバにすでにインストール予定のエージェントがインストールされている場合は、上書きや追加でエージェント設定を行うことはできません。
- Linux 環境で yum コマンドを利用してエージェントのインストールを行います。Yum リポジトリからパッケージの取得ができない場合、エージェント設定を行うことはできません。
- Linux 環境で SNMPv3 監視を設定されたい場合、ホストの登録後 SNMP 設定を変更いただく必要があります。

3 Linux サーバでの実行例

Linux サーバでのホスト登録方法について記載します。

以下、コマンド発行例は以下の環境での実行を想定し記載します。

X-MON の IP アドレス	192.168.0.10
外部連携用アクセスキー	XXXXXXXX-1234-1234-1234-YYYYYYYYYYYY
Linux サーバのホスト名	host_linux
Linux サーバの IPv4 アドレス	192.168.0.50
Linux サーバの IPv6 アドレス	fe80::6666
Linux サーバ設定された SNMP コミュニティ名	xmon_community
Linux サーバ設定された SNMP ポート番号	161

3.1 コマンドのダウンロード

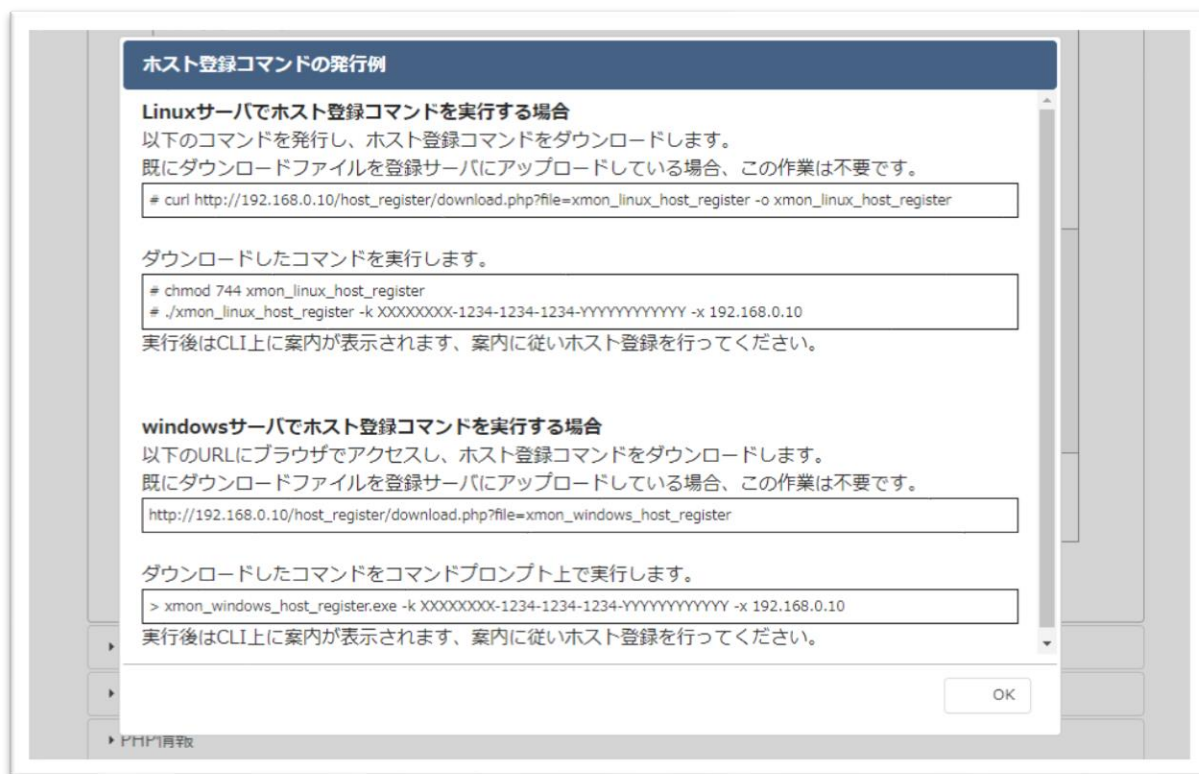
X-MON の管理画面に「システム管理者」もしくは「運用責任者」権限でログインします。

「システム情報」ページに遷移します。

「外部連携用アクセスキー」項目のコマンド発行例ボタンをクリックします。



「ホスト登録コマンドの発行例」ポップアップが表示されますので
「Linux サーバでホスト登録コマンドを実行する場合」欄を参照します。



被監視サーバでのコマンド発行

コマンドのダウンロードを行います。

```
# curl http://192.168.0.10/host_register/download.php?file=xmon_linux_host_register -o xmon_linux_host_register
```

上記のコマンドを一行で発行します。

コマンドの権限変更を行います。

```
# chmod 744 xmon_linux_host_register
```

3.2 コマンドの引数について

xmon_linux_host_register のコマンド引数として以下の設定が可能です。

引数	説明	必須
-x	X-MON の IP アドレス	○
-k	X-MON 管理画面より発行される外部連携用アクセスキー	○
--no-service	このオプションを付与すると、サービスの登録をしない	
--no-snmp	SNMP エージェントのインストール・セットアップをしない	
--no-nrpe	NRPE エージェントのインストール・セットアップをしない	
-q	クワイエットモード（対話を行わない）を有効にする	
-n	X-MON に登録するホスト名	※
-i	X-MON に登録するホストの IP アドレス	※
-v	SNMP バージョン	※
-c	SNMP コミュニティ名	※
-p	SNMP ポート番号	※

※ これらのオプションはクワイエットモードでのみ必須です。

以下のマニュアルでは必須オプションのみを指定した、対話モードでのホスト登録について記載します。

3.3 コマンドの実行（エージェントをインストールする場合）

必須引数を指定し、コマンドを実行します。

```
# ./xmon_linux_host_register -k XXXXXXXX-1234-1234-YYYYYYYYYYYY -x 192.168.0.10
```

3.3.1 エージェント登録状態の確認

エージェントが未インストールの場合、以下のメッセージが表示されます。

SNMP エージェントのセットアップを行います。

NRPE エージェントのセットアップを行います。

3.3.2 ホスト ID の指定

以下のような選択項目が表示されますので、ホスト ID の指定を行います。

登録するホストの ID を選択してください。

- 1) host_linux
- 2) 入力して指定

番号 :

表示されている名称でホスト登録したい場合はホスト名の書かれた番号を選択します。

(例では 1 番を選択)

登録するホストの ID を選択してください。

- 1) host_linux
- 2) 入力して指定

番号 : 1

「入力して指定」（例では 2 番）を選択すると、ホスト ID の自由入力欄が表示されます。

登録するホストの ID を選択してください。

- 1) host_linux
- 2) 入力して指定

番号 : 2

ホスト ID :

3.3.3 IP アドレス・FQDN の指定

ホスト ID を選択すると、選択項目が表示されます。

ホスト ID と同様に IP アドレスの指定を行います。

登録するホストの IP アドレス・FQDN を選択してください。

- 1) 127.0.0.1
- 2) 192.168.0.50
- 3) ::1
- 4) fe80::6666
- 5) 入力して指定

番号 :

3.3.4 SNMP のコミュニティ名の指定

セットアップする SNMP のコミュニティ名の指定を行います。

設定する SNMP のコミュニティ名を入力してください。

コミュニティ名 :

※ SNMP エージェントのインストール時に指定したコミュニティ名でセットアップされます。

3.3.5 SNMP バージョンの指定

SNMP のインストールを行う場合、SNMP バージョンの指定は行いません。

バージョン 2c でセットアップされ、登録ホストにも 2c が設定されます。

3.3.6 SNMP ポート番号の指定

SNMP のインストールを行う場合、SNMP ポートの指定は行いません。

161 番でセットアップされ、登録ホストにも 161 番が設定されます。

3.3.7 エージェントインストールとホスト登録

設定項目の指定が完了すると、エージェントのインストール・セットアップとホストの登録が始まります。

以下のようなメッセージが表示されれば設定完了です。

SNMP のインストールが完了しました。

NRPE のインストールが完了しました。

X-MON へのホスト登録が完了しました。X-MON 再起動後に監視が開始されます。

3.4 コマンドの実行（エージェントをインストールしない場合）

エージェントのインストールが不要な場合は以下のようにオプションを指定します。

SNMP エージェントをインストールしない場合

```
# ./xmon_linux_host_register -k XXXXXXXX-1234-1234-1234-YYYYYYYYYYYY -x 192.168.0.10 --no-snmp
```

NRPE エージェントをインストールしない場合

```
# ./xmon_linux_host_register -k XXXXXXXX-1234-1234-1234-YYYYYYYYYYYY -x 192.168.0.10 --no-nrpe
```

※ どちらのエージェントも不要な場合 「--no-snmp」と「--no-nrpe」オプションを両方指定します。

3.4.1 エージェント登録状態の確認

エージェントがインストール済みの場合、以下の内容が出力されます。

```
既に SNMP エージェントがインストールされています。SNMP エージェントのセットアップは行いません。
```

```
既に NRPE エージェントがインストールされています。NRPE エージェントのセットアップは行いません。
```

エージェントをインストールしないオプションを選択している場合は、以下のメッセージがそれぞれ出力されます。

```
SNMP エージェントのセットアップは行いません。
```

```
NRPE エージェントのセットアップは行いません。
```

3.4.2 ホスト ID の指定

以下のような選択項目が表示されますので、ホスト ID の指定を行います。

登録するホストの ID を選択してください。

- 1) host_linux
- 2) 入力して指定

番号 :

表示されている名称でホスト登録したい場合はホスト名の書かれた番号を選択します。

(例では 1 番を選択)

登録するホストの ID を選択してください。

- 1) host_linux
- 2) 入力して指定

番号 : 1

「入力して指定」 (例では 2 番) を選択すると、ホスト ID の自由入力欄が表示されます。

登録するホストの ID を選択してください。

- 1) host_linux
- 2) 入力して指定

番号 : 2

ホスト ID :

3.4.3 IP アドレス・FQDN の指定

ホスト ID を選択すると、選択項目が表示されます。

ホスト ID と同様に IP アドレスの指定を行います。

登録するホストの IP アドレス・FQDN を選択してください。

- 1) 127.0.0.1
- 2) 192.168.0.50
- 3) ::1
- 4) fe80::6666
- 5) 入力して指定

番号 :

3.4.4 SNMP のコミュニティ名の指定

登録するホストに設定する SNMP のコミュニティ名の指定を行います。

設定する SNMP のコミュニティ名を選択してください。

- 1) xmon_community
- 2) 入力して指定

番号 :

※ SNMP のインストールを行わない場合は、セットアップを行いません。指定されたコミュニティ名もホスト登録にのみ利用されます。

3.4.5 SNMP バージョンの指定

SNMP 設定がバージョン 1 のみ設定されている場合、選択項目が表示されます。

バージョン 2c の設定がある場合、自動で 2c が選択されます。

3.4.6 SNMP ポート番号の指定

登録するホストに設定する SNMP のポートの指定を行います。

監視登録する SNMP のポート番号を選択してください。

(バージョン 3 を利用の方は管理画面のホスト管理よりホストを追加してください。)

- 1) 161
- 2) 入力して指定

番号 :

※ SNMP のインストールを行わない場合は、セットアップを行いません。指定されたポート番号はホスト登録にのみ利用されます。

3.4.7 ホスト登録

設定項目の指定が完了すると、ホストの登録が始まります。

以下のようなメッセージが表示されれば設定完了です。

SNMP のインストールが完了しました。

NRPE のインストールが完了しました。

X-MON へのホスト登録が完了しました。X-MON 再起動後に監視が開始されます。

3.5 ホスト登録の確認

X-MON の管理画面を表示し、対象のホストが登録されていることを確認します。

ホスト一覧

ホスト・サービス管理 | [ホストグループ管理](#) | [サービスグループ管理](#) | [アイコン管理](#) | [構成管理](#) | [ドキュメント管理](#)

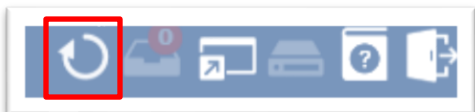
検索

[新規作成](#)
[かんたん監視登録](#)
[ネットワークからホストを検出する](#)
[削除](#)
[削除と承認](#)

ID	名称	IPアドレス/FQDN	エスカレーション		監視エージェント状況		
host_linux	host_linux	192.168.0.50	有効 0	無効 0	NRPE OK	SNMP OK	WMI -
詳細表示 サービス設定 ホストエスカレーション設定							
X-MON	X-MON	127.0.0.1	有効 0	無効 1	NRPE OK	SNMP OK	WMI -
詳細表示 サービス設定 ホストエスカレーション設定							

[新規作成](#)
[削除](#)
[削除と承認](#)

右上の再起動アイコンをクリックし、再起動を実施してください。



4 Windows サーバでの実行例

Windows サーバでのホスト登録方法について記載します。

以下、コマンド発行例は以下の環境での実行を想定し記載します。

X-MON の IP アドレス	192.168.0.10
外部連携用アクセスキー	XXXXXXXX-1234-1234-1234-YYYYYYYYYYYY
Windows サーバのホスト名	WIN-HOST
Windows サーバの IPv4 アドレス	192.168.0.50
Windows サーバ内に存在するユーザ名	Administrator sample_user

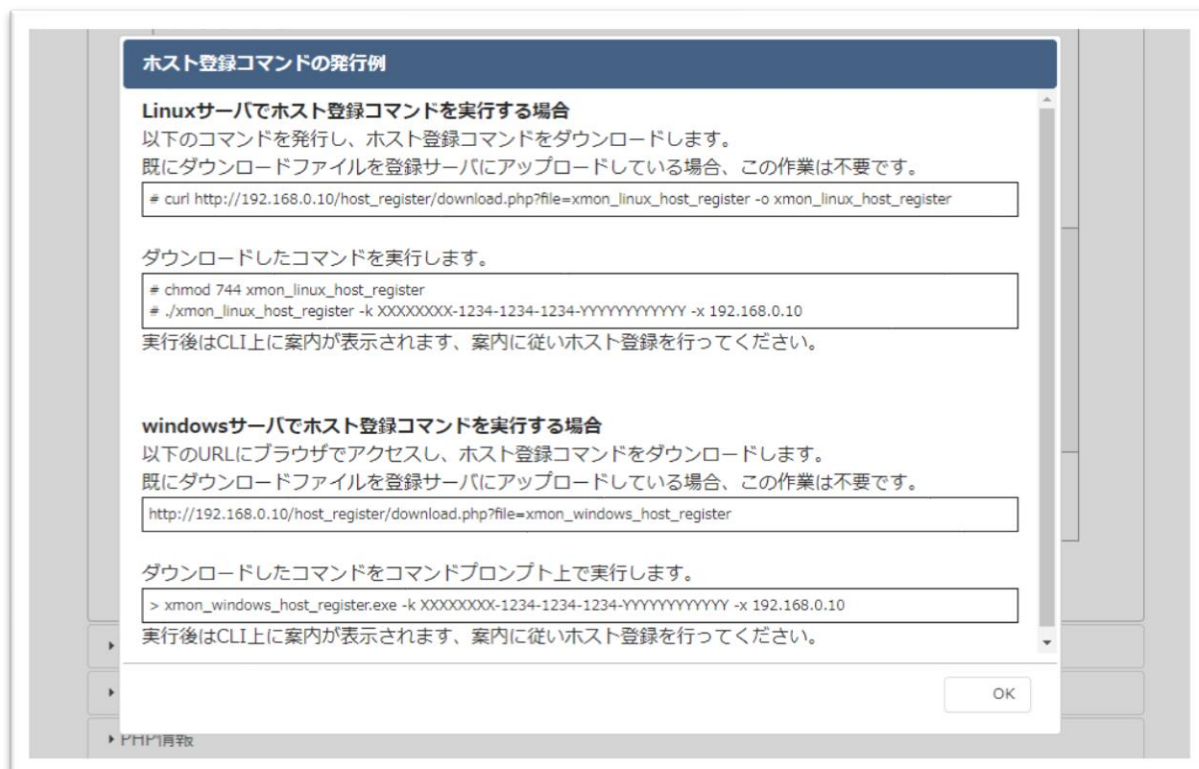
4.1 コマンドのダウンロード

X-MON の管理画面に「システム管理者」もしくは「運用責任者」権限でログインします。

「システム情報」ページに遷移し、「外部連携用アクセスキー」項目のコマンド発行例ボタンをクリックします。



「ホスト登録コマンドの発行例」ポップアップが表示されますので
「Windows サーバでホスト登録コマンドを実行する場合」欄を参照します。



被監視サーバでのコマンド発行

Windows サーバの GUI 画面でブラウザを起動し、以下の URL に接続します。

```
http://192.168.0.10/host_register/download.php?file=xmon_windows_host_register
```

GUI でブラウザ利用ができない場合、一度作業用 PC にファイルをダウンロードし、Windows サーバにアップロードしてください。

4.2 コマンドの引数について

xmon_windows_host_register.exe のコマンド引数として以下の設定が可能です。

引数	説明	必須
-x	X-MON の IP アドレス	○
-k	X-MON 管理画面より発行される外部連携用アクセスキー	○
--no-service	このオプションを付与すると、サービスの登録をしない	
--no-wmi	WMI エージェントのセットアップをしない	
--no-nscpp	NSClient++エージェントのインストール・セットアップをしない	
-q	クワイエットモード（対話を行わない）を有効にする	
-n	X-MON に登録するホスト名	※
-n	X-MON に登録するホストの IP アドレス	※
-u	WMI ユーザ名	※
-p	WMI パスワード	※

※ これらのオプションはクワイエットモードでのみ必須です。

以下のマニュアルでは必須オプションのみを指定した、対話モードでのホスト登録について記載します。

4.3 コマンドの実行（エージェントをインストールする場合）

Windows サーバでのコマンド発行は管理者権限のあるコマンドプロンプト上で実行します。

```
> xmon_windows_host_register.exe -k XXXXXXXX-1234-1234-1234-YYYYYYYYYYYY -x 192.168.0.10
```

4.3.1 エージェント登録状態の確認

エージェントが未インストールの場合、以下のメッセージが表示されます。

```
WMI エージェントのセットアップを行います。

NSClient++エージェントのセットアップを行います。
```

4.3.2 ホスト ID の指定

以下のような選択項目が表示されますので、ホスト ID の指定を行います。

```
登録するホストの ID を選択してください。
1) WIN-HOST
2) 入力して指定

番号 :
```

表示されている名称でホスト登録したい場合は番号を選択します。

```
登録するホストの ID を選択してください。
1) WIN-HOST
2) 入力して指定

番号 : 1
```

「入力して指定」（例では 2 番）を選択すると、ホスト ID の自由入力欄が表示されます。

```
登録するホストの ID を選択してください。
1) WIN-HOST
2) 入力して指定

番号 : 2
ホスト ID :
```

4.3.3 IP アドレス・FQDN の指定

ホスト ID を選択すると、選択項目が表示されます。

ホスト ID と同様に IP アドレスの指定を行います。

登録するホストの IP アドレス・FQDN を選択してください。

- 1) 127.0.0.1
- 2) 192.168.0.50
- 3) 入力して指定

番号 :

4.3.4 WMI ユーザの指定

IP アドレスの指定を行うと、ホストのローカルユーザの一覧が表示されます。

WMI ユーザの指定を行います。

登録する WMI ユーザ名を選択してください。

- 1) Administrator
- 2) sample_user
- 3) 入力して指定

番号 :

※ WMI のセットアップ時に指定したユーザが存在しない場合、新規登録されます。

パスワードを指定します。

登録する WMI ユーザ名を選択してください。

- 1) Administrator
- 2) sample_user
- 3) 入力して指定

番号 : 2

パスワード :

4.3.5 エージェントインストールとホスト登録

設定項目の指定が完了すると、エージェントのインストール・セットアップとホストの登録が始まります。

以下のようなメッセージが表示されれば設定完了です。

WMI のセットアップが完了しました。

NSClient++のインストールが完了しました。

X-MON へのホスト登録が完了しました。X-MON 再起動後に監視が開始されます。

4.4 コマンドの実行（エージェントをインストールしない場合）

エージェントのインストールが不要な場合は以下のようにオプションを指定します。

WMI エージェントのセットアップをしない場合

```
> xmon_windows_host_register.exe -k XXXXXXXX-1234-1234-1234-YYYYYYYYYYYY -x 192.168.0.10
--no-wmi
```

上記のコマンドを一行で発行します。

NSClient++エージェントをインストールしない場合

```
> xmon_windows_host_register.exe -k XXXXXXXX-1234-1234-1234-YYYYYYYYYYYY -x 192.168.0.10
--no-nscpp
```

上記のコマンドを一行で発行します。

※ どちらのエージェントも不要な場合 「--no-wmi」と「--no-nscpp」オプションを両方指定します。

4.4.1 エージェント登録状態の確認

エージェントがインストール済みの場合、以下の内容が出力されます。

```
既に WMI エージェントがインストールされています。WMI エージェントのセットアップは行いません。

既に NSClient++エージェントがインストールされています。NSClient++ エージェントのセットアップは行いません。
```

エージェントをインストールしないオプションを選択している場合は、以下のメッセージがそれぞれ出力されます。

```
WMI エージェントのセットアップは行いません。

NSClient++エージェントのセットアップは行いません。
```


4.4.2 ホスト ID の指定

以下のような選択項目が表示されますので、ホスト ID の指定を行います。

登録するホストの ID を選択してください。

- 1) WIN-HOST
- 2) 入力して指定

番号 :

表示されている名称でホスト登録したい場合は番号を選択します。

登録するホストの ID を選択してください。

- 1) WIN-HOST
- 2) 入力して指定

番号 : 1

「入力して指定」（例では 2 番）を選択すると、ホスト ID の自由入力欄が表示されます。

登録するホストの ID を選択してください。

- 1) WIN-HOST
- 2) 入力して指定

番号 : 2

ホスト ID :

4.4.3 IP アドレス・FQDN の指定

ホスト ID を選択すると、選択項目が表示されます。

ホスト ID と同様に IP アドレスの指定を行います。

登録するホストの IP アドレス・FQDN を選択してください。

- 1) 127.0.0.1
- 2) 192.168.0.50
- 3) 入力して指定

番号 :

4.4.4 WMI ユーザの指定

IP アドレスの指定を行うと、ホストのローカルユーザの一覧が表示されます。

登録する WMI ユーザ名を選択してください。

- 1) Administrator
- 2) sample_user
- 3) 入力して指定

番号 :

※ WMI のセットアップを行わない場合、WMI ユーザの追加や編集は行いません。

パスワードを指定します。

登録する WMI ユーザ名を選択してください。

- 1) Administrator
- 2) sample_user
- 3) 入力して指定

番号 : 2

パスワード :

4.4.5 ホスト登録

設定項目の指定が完了すると、ホストの登録が始まります。

以下のようなメッセージが表示されれば設定完了です。

X-MON へのホスト登録が完了しました。X-MON 再起動後に監視が開始されます。

4.5 ホスト登録の確認

X-MON の管理画面を表示し、対象のホストが登録されていることを確認します。

ホスト一覧

ホスト・サービス管理 | [ホストグループ管理](#) | [サービスグループ管理](#) | [アイコン管理](#) | [構成管理](#) | [ドキュメント管理](#)

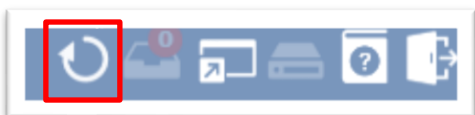
検索

新規作成 | かんたん監視登録 | ネットワークからホストを検出する | 削除 | 削除と承認

ID	名称	IPアドレス/FQDN	エスカレーション		監視エージェント状況		
<input type="checkbox"/> WIN-HOST	WIN-HOST	192.168.0.50	有効 0	無効 0	NRPE OK	SNMP -	WMI OK
詳細表示 サービス設定 ホストエスカレーション設定							
<input type="checkbox"/> X-MON	X-MON	127.0.0.1	有効 0	無効 1	NRPE OK	SNMP OK	WMI -
詳細表示 サービス設定 ホストエスカレーション設定							

新規作成 | 削除 | 削除と承認

右上の再起動アイコンをクリックし、再起動を実施してください。



5 補足

以下、環境や条件に応じたコマンド発行例を記載しております。

3 章 Linux 環境での発行例をもとに引数を指定しておりますが、Windows 環境でも同様にコマンド発行が可能です。

5.1 ホストの登録を行いたいが、サービスは不要な場合

サービスの登録が不要な場合、以下のように「--no-service」オプションを利用し、ホスト登録のみを行うことができます。

```
# ./xmon_linux_host_register -k XXXXXXXX-1234-1234-1234-YYYYYYYYYYYY -x 192.168.0.10
--no-service
```

上記のコマンドを一行で発行します。

5.2 対話を行わず、コマンドラインでホストの登録を行いたい場合

対話を行わずにコマンド発行でホストの登録を行いたい場合、「-q」オプションを使用します。

```
# ./xmon_linux_host_register -k XXXXXXXX-1234-1234-1234-YYYYYYYYYYYY -x 192.168.0.10 -q
-n host_linux -i 192.168.0.50 -v 2c -c xmon_community -p 161
```

上記のコマンドを一行で発行します。

5.3 AD に所属しており、WMI ユーザを AD サーバに登録している場合

本項目は、4 章 Windows 環境での発行例をもとに引数を指定しております。

WMI 取得用のユーザが AD ユーザがとして登録されており、そのユーザで監視を行う場合

「--no-wmi」オプションを指定し WMI のセットアップを行わないようにしてください。

```
> xmon_windows_host_register.exe -k XXXXXXXX-1234-1234-1234-YYYYYYYYYYYY -x 192.168.0.10
--no-wmi
```

上記のコマンドを一行で発行します。

さらに WMI ユーザの指定時に、「入力して指定」を選択し、

ユーザ名を「【ドメイン名】¥(バックスラッシュ)【ユーザ名】」と指定してください。

例：AD_DOMAIN¥wmi_user